



先日、私も参加しているK.CATフォーラムが「街めぐり あなたはどっち？ バスVSチャリ」ということで、金沢の市街地観光をバスか自転車を楽しむ方法を提案しました。

「コミュニティバスや自転車を利用することでじっくり観賞して、自家用車では味わえない地元の人との触れ合いや、裏道に行くことによって金沢ならではの文化を味わってもらえます。ところが、そのためには何点が整備を要する点や制度の見直しが必要になってくるのがわかりまし

ジーアンドエス社長 萩原 扶未子

た。

例えば、自転車道の整備です。意外に思われる方も多いと思いますが、法的には自転車は「車両」となります。つまり歩道を走っては、罰則対象になります。みなさんも見た覚えがあると思いますが、歩道に青色の看板で人と自転車が表示されているところは、自転車も歩道を走ることができないのです。でも、車道側を徐行で一列で走行し、歩行者の通行を妨げてはいけません。これが義務付けられていて、守らないとやはり罰金などの罰則があります。

車道を自転車走っているのは、運転している身としては、けっこう彼らへの危険を感じています。

観光地かなざわの問題点

かといつて、歩行者側となると、自転車が歩道を走っていると逆にぶつかられるのではないかと、ひやりとするところがあります。金沢は人が安心して歩ける歩道の整備を現在推進しているところ、また、自転車道を考える段階ではないでしょう。長期的な整備計画で、市街地の自転車道を実現し

てほしいものです。

他、バス派もチャリ派も「まいどさん」の活用が金沢観光の重要な軸だと提案されました。まいどさんは質の高い観光案内ボランティア集団として、金沢の知名度をあげている貴重な存在です。登録人数も190人を超え、東と西茶屋街、

長土塀に常駐スタッフの待機所まであり、大きな組織に成長しています。ところが私も経験したのですが、「市」の観光ボランティアとして「市」の観光施設には無償で入れますが、「その他管轄」の施設には一般と同じ入場料が必要となります。まいどさんを依頼した人は兼六園や金沢城が

思慮な気がします。行政サイドの縦割り施策が絡んでいるのであれば非常に残念です。

このように、毎回K.CATのフォーラムは「かなざわの街づくり」を考えたい機会を私に与えてくれています。来年のフォーラムには、皆さんもぜひ一緒にかなざわの街づくりを考えませんか！

*K.CAT 金沢大学の高山純一教授が中心となり、日ごろから街づくりにかかわるメンバーが、金沢(Kanazawa)の都市(City)と(And)交通(Transportation)を考え、年1回、提言を発表している会。